



報道関係者各位
プレスリリース

2025年2月10日
株式会社エル・ティー・エス

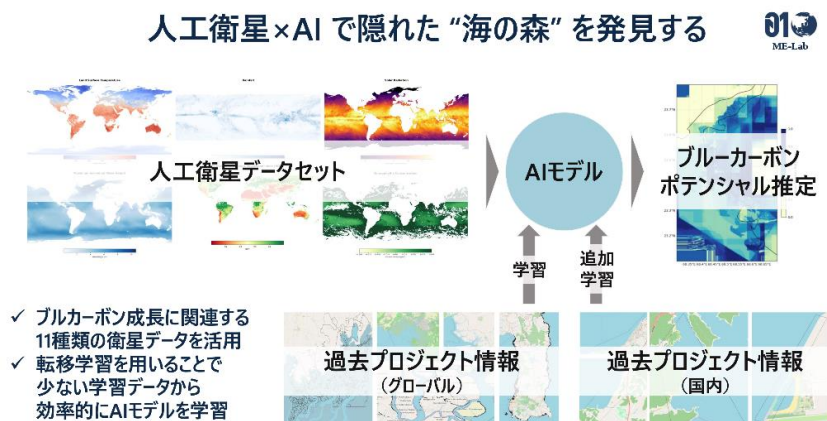
LTSグループのME-Lab Japan、「衛星データ活用アワード2024」最優秀賞
～人工衛星×AIで隠れた”海の森”を発見する～

株式会社エル・ティー・エス（本社：東京都港区、代表取締役社長：樺島 弘明、以下 LTS）の子会社である株式会社 ME-Lab Japan（同、代表取締役社長：坂内 匠、以下 ME-Lab Japan）は1月23日、衛星データを活用したグリーン分野に係る課題解決アイデアを募るビジネスコンテスト「[衛星データ活用アワード2024](#)」（NTTコミュニケーションズ株式会社・以下 NTT Com が協賛企業として参画し、[SSIL](#) と共同で開催するコンテストで、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構・以下 NEDO が主催する [NEDO Challenge, Satellite Data for Green Earth](#) と連携した衛星データ活用プログラム）で最優秀賞を受賞したことをお知らせします。



ME-Lab Japan が受賞したアイデアは「人工衛星データと転移学習を用いた広域ブルーカーボンポテンシャルの推定サービス」（詳細は後述）です。企業、個人、学生、異業種、宇宙業界関係者等からの幅広い応募より、事業/技術の妥当性、事業の実現性/収益性の観点で、NTT Com および株式会社 NTT ドコモの審査員により選出されました。

■ 「広域ブルーカーボンポテンシャルの推定サービス」について



「広域ブルーカーボンポテンシャルの推定サービス」は、人工衛星を用いたブルーカーボンプロジェクトの適正地を推定するシステムのアイデアです。人工衛星から取得できる広域の環境情報（海水面温度、降水量、クロロフィル a 濃度、地形情報、波高情報など）と AI 技術を用いることで環境条件的にブルーカーボンプロジェクトに適した地域を推定するソリューションを開発しました。

ブルーカーボンは、マングローブ、塩性湿地、海草藻場などの沿岸生態系が大気中の二酸化炭素（CO₂）を吸収し、有機物として土壌や植物体内に蓄える炭素を指し、このプロセスを活用して気候変動の緩和や持続可能な開発を推進する取り組みをブルーカーボンプロジェクトと呼ぶ。炭素クレジット市場の拡大に伴い、持続可能な炭素吸収源として注目されている。

適正地をステークホルダーに情報提供することで、ブルーカーボンプロジェクトの数と規模の拡大を実現し、ステークホルダーが参入したくなる魅力的な市場形成に貢献します。

■ サービス利用をご検討の企業様へ

ME-Lab Japan は本サービスについて、プラットフォームを通じた迅速なデータ提供と、その後のプロジェクト申請・マネジメントまで、コンサルティングサービスによる一貫した伴走が可能です。ブルーカーボンプロジェクト領域へ参入検討される際は、お問い合わせください。

・ ME-Lab Japan サービスページ：<https://jp.melab.ai/business>

■ 今後の展望

ME-Lab Japan と、Green Natural Credit を提供する NTT Com との連携により、ブルーカーボン分野におけるプロジェクトを一貫して支援することが可能となります。カーボンクレジットビジネスの拡大に向けて今後、協業の可能性を検討していきます。

Green Natural Credit。カーボンクレジットの創出と販売を支援するプロジェクトの総称、またはその構想を指します。



■注釈

【株式会社 ME-Lab Japan について】

2024年2月27日に設立したLTSの子会社（資本金1,800万円）。気候変動による自然災害が企業活動に及ぼす影響が深刻化し、また金融市場では企業へ気候リスク関連の情報開示を求める動きが加速しています。こうした環境下、気候変動による経営リスクを的確に把握し経営戦略に反映、グローバル基準に整合した非財務情報の開示にも対応できるよう、お客様のGX経営推進を支援します。アカデミアの最先端テクノロジーと経営戦略を組み合わせることで日本、世界のGX実現に貢献することを目指します。

【株式会社エル・ティー・エスについて】

東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6560） URL：<https://lt-s.jp/>

株式会社エル・ティー・エスは、デジタル時代のベストパートナーを目指し、お客様の変革実行能力を高めるためのコンサルティングを主軸としたプロフェッショナルサービスと、IT業界の企業や人材をつなぎ新しいビジネス機会を創出するプラットフォーム事業を運営しています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社エル・ティー・エス 広報担当 E-Mail：info@lt-s.jp